

HYDROSKY

SKY Coat MX

SKY Coat Silver

《屋根・外壁の遮熱、断熱処理》

HYDROSKY

SKY Coat MX & SKY Coat Silver

100W レフ電球による照射温度の測定

未処理版：照射試験版裏温度

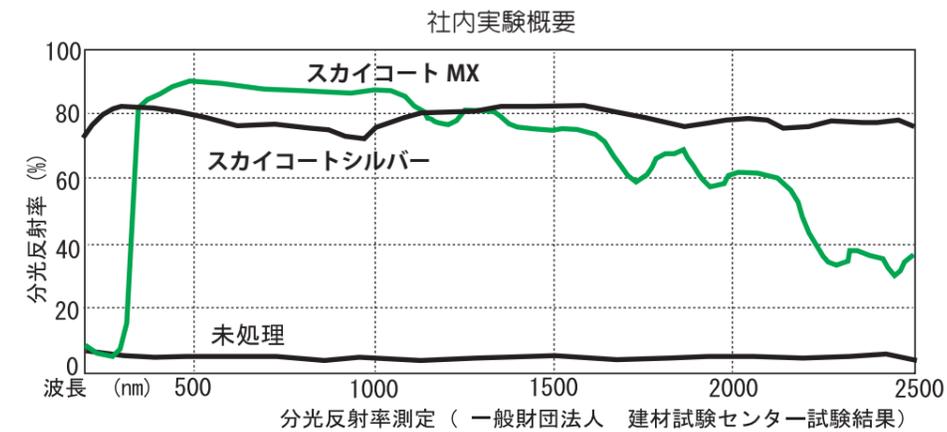
スカイコートシルバー：照射試験版裏温度



左：未処理 右：スカイコートシルバー

左：未処理

右：スカイコートシルバー



※この社内実験は、室温に左右されないように、透明なアクリル板、厚さ5mm、高さ150mm、幅200mm、奥行き200mm 密閉し、照射試験体裏面に位置する場所に、温度センサーを設置し、上記写真のように5mm厚さのスレート屋根葺材に、100Wレフ電球を照射して行いました。その他、5mm厚のアルミ板、3mm厚さガルバリウム鋼板に於いても同様な結果が獲られました。30分程度で約30°C以上の遮熱効果が確認できました。

このような試験結果からスカイコート高反射率を確認できます。外部の日射を確実に阻止し、内部に蓄熱いたしません。通常の断熱材は、厚めのシート貼りやモルタルを左官するように厚塗りをする場合が多い中、極めて施工が容易です。スカイコートシルバーにおいては金属粉を塗布するので、色褪せの心配もなく強い撥水による防水性や防錆効果に優れています。体育館の屋根や製造工場の屋根、外壁などコストパフォーマンスに優れ、環境改善に一躍担った材料であるといえます。

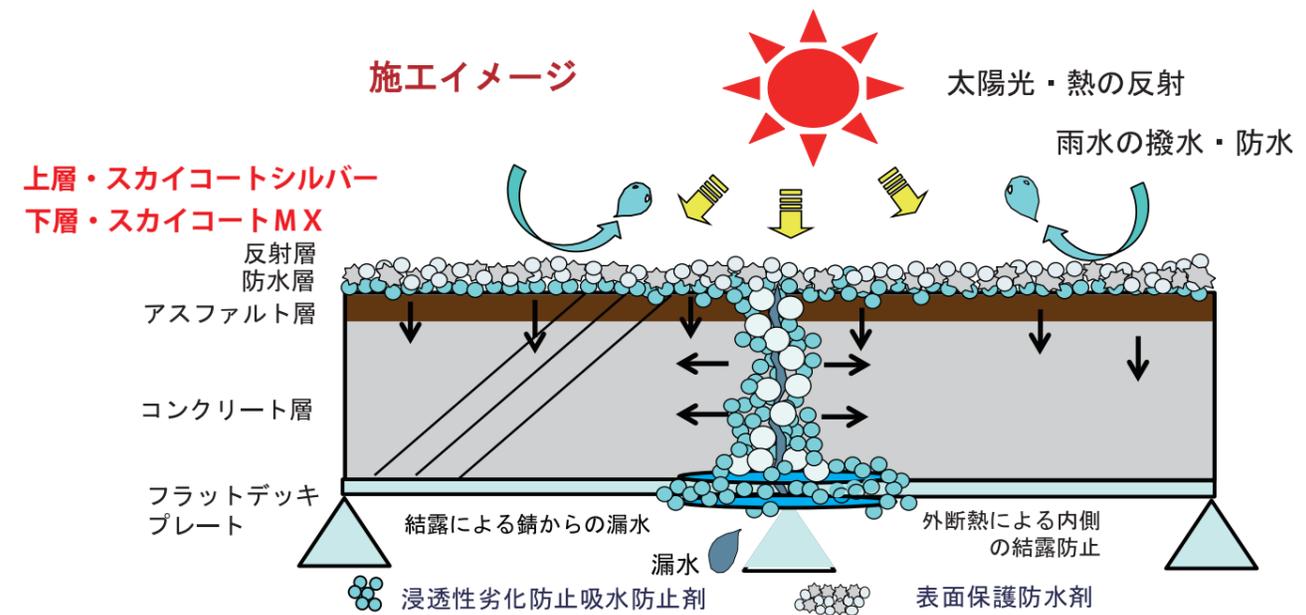
世界遺産保護材料のヘリテージにアルミニウム削出粉体とを融合させることで、高反射率防水仕上げによる遮熱・断熱効果を実現した画期的な保護材が完成いたしました。ハイドロ・スカイ各製品との組み合わせにより、屋根からの漏水や外壁からの漏水を補修しながら、遮熱、断熱効果が得られます。エネルギー危機、消費税率の上昇。すでに電気料金の値上げは実施され、個人や企業の負担は増すばかりです。遮熱・断熱を施すだけで、室内温度変化は15~30%軽減します。空調温度を無理なく設定することで電気料金が大幅に削減できます。

工場、体育館、倉庫の屋根など効果は歴然



工場のスレート屋根の改修工事です。築30年ほど経過。スレートの劣化により漏水も疎らです。またアスベスト含有も懸念されます。高圧洗浄後SKY-SPを浸透させ、石綿繊維の固化と止水処理を行い乾燥させます。次にスカイコートを塗布、この成分中にセラミック中空ビーズが混練りしており、乾燥させことで断熱効果が増幅されます。乾燥後にスカイコートシルバーで遮熱保護します。スカイコートシルバーの撥水効果により雨のたびに屋根を洗浄して銀色の保護効果は長期的に継続します。

Everything starts here
Hydro-Sky Co.,Ltd.



コンクリート屋根やスレート屋根など、漏水が考えられる場合は、ハイドロスカイ工法をお勧め致します。コンクリート系の下地は経年による中性化が進行していたり、地震などによる亀裂による漏水は有機溶剤での補修は限界があります。けい酸塩けい含浸剤を浸透浸透させ内部結晶させます。その上にスカイコートの遮熱・断熱・保護防水することで快適な生活環境を維持することができます。